

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公開番号】特開2011-24091(P2011-24091A)  
 【公開日】平成23年2月3日 (2011.2.3)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-005  
 【出願番号】特願2009-168807(P2009-168807)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 1/59

G 0 6 K 19/00 N

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】  
 【提出日】平成24年6月6日 (2012.6.6)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 4  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 1 2 4 】

ステップ S 3 6 において、変換部 6 5 は、ISO処理部 6 6 からのブロックに含まれるブロックEDCに基づいて、ブロックに誤りが生じているか否かを判定する。そして、変換部 6 5 は、その判定結果に基づいて、ISO処理部 6 6からのブロックに誤りが生じていないことを確認した後、処理をステップ S 3 7 に進める。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 1 2 5 】

なお、ステップ S 3 6 において、ISO処理部 6 6からのブロックに誤りが生じていないことが確認できない場合には、ISO処理部 6 6からのブロックに誤りが生じていないことが確認できるまで、ステップ S 3 5 において、再度、ブロックが生成される。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 2 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 1 2 8 】

そして、変換部 6 5 は、算出したフレームEDCと、ISO処理部 6 6 から供給されるブロックに含まれるブロックEDCとを置き換えて、その結果得られるフレームを、JIS通信処理部 6 2 に供給する。